

文部科学省選定

企画協力 法務省人権擁護局

推薦：厚生労働省



笹川記念保健協力財団

人権学習教育映画【DVD・25分】

第33回全国中学生人権作文コンテスト
法務大臣賞「NO!と言える強い心をもつ」映画化

(中学生以上一般向け)

こんにちは ^{キム テ グ} 金泰九さん

ハンセン病問題から学んだこと



中学生の目から見た
ハンセン病問題
二度と繰り返してはならない
悲しい歴史

「キムさん！
絶対また来ます！」

挿入歌「涙そうそう」夏川りみ



制作統括・監督 高木裕己

映学社作品

企画意図

今、ハンセン病問題は大きな課題に直面しています。長島愛生園でも、現在260名程の入所者が療養生活を送っていますが、平均年齢が83歳と高齢化し、毎年数10名ほどが亡くなっています。

ハンセン病に対する厳しい差別、その悲しい歴史とその中を生き抜いた人々の歴史が風化しないように伝えていきたい——広島県福山市にある盈進中学高等学校ヒューマンライツ部では、らい予防法が廃止された翌年の1997年から同園を訪問、入所者の苦しみや悲しみの人生から「生きる意味」や「生き抜いた証」を聞き取る体験学習を続けています。そうした活動の中で、現在中学2年生の後藤泉稀さんが中学1年生の時に書いた“ハンセン病から学んだこと”についての作文が、第33回全国中学生人権作文コンテストで法務大臣賞を受賞しました。

そこで、この作品は、その作文の内容を映像化することで、かつてハンセン病を患った人たちや、ご家族への人権侵害の歴史を二度と繰り返さないように強く訴えかけていくものです。

作品の概要

■**審査員の心を掴んだ作文**■ 第33回全国中学生人権作文コンテストで法務大臣賞に輝いた作文を大ホールで朗読する、後藤泉稀さん(広島県福山市・盈進中学2年)の姿を捉えて、後藤さんと元ハンセン病患者・金泰九(キム・テグ)さんとの交流を紹介する。

■**ハンセン病とは?**■ 金泰九さんの暮らす長島愛生園とハンセン病の歴史を描く。長い間、ハンセン病患者を苦しめた「らい予防法」についても、その悲しい歴史を紐解いていく。そして金さんの生い立ち、入所当時の思い、今、私たちに望むことなどを聞きだしていく。

■**ヒューマンライツ部の活動**■ 20年前から続く長島愛生園での体験学習。この学習を通して後藤さんは「差別と偏見に翻弄された人々、そして今の自分」に思いを馳せるようになった。卒業生で聴覚障害をもつ濱田さん。彼女もまた金さんと出会い、差別と偏見を乗り越え、力強く生き抜いてきた姿に勇気をもらい、人生を切り開いてきた一人だ。

■**金さんが教えてくれたこと**■ 過去の悲しくつらい思いを胸に秘めながらも、終始穏やかに生徒たちと接する金さん。金さんとの語らいの中で、後藤さんを始め多くのヒューマンライツ部員が、「ハンセン病を正しく知って正しく伝えることの大切さ」、「周りの人の愛で支えられて生きている自分」を実感し、今日も何かを学んでいる。

協力

学校法人 盈進学園 盈進中学高等学校
国立療養所 長島愛生園
国立療養所 長島愛生園入所者自治会
国立療養所 長島愛生園歴史館
全国ハンセン病療養所入所者協議会
国立療養所 多磨全生園入所者自治会
国立療養所 菊池恵楓園
国立療養所 菊池恵楓園入所者自治会
国立療養所 菊池恵楓園社会交流会館
国立ハンセン病資料館
ハンセン病市民学会
大黒 澄枝

制作統括・脚本・監督 高木 裕己
撮 影 照屋 真治
録 音 遠山 浩司
ライン編集 正者 章子
挿入歌 夏川 りみ「涙そうそう」
コーディネーター 斎藤 晃顕
ナレーター 斉藤 とも子

制作・著作 株式会社 映学社

■ ライブラリー価格 本体 **¥65,000**+税

■ 学校価格 (中学校・高校のみ) 本体 **¥33,000**+税

■ DVD [カラー・約25分] ※字幕版も収録されています

■ 2015年・映学社作品

●お問い合わせ、お買い上げは……

 株式会社 映学社
EIGAKUSYA CO.,LTD.

〒160-0022 東京都新宿区新宿5丁目7番8号らんざん5ビル
TEL: 03-3359-9729 (代表) FAX: 03-3359-4024
<http://www.eigakusya.co.jp/>